

## 令和8年度 始業式講話

校長 吉田 真治

今日から令和8年度がスタートしますが、皆さんの今日の心境はどうでしょうか。

3月の終業式では、誰かに押しってもらう「やる気スイッチ」というものはなく、「まず行動」するしかないという話をしましたが覚えてくれていますか。だから、自ら行動する習慣(特に自学自習の姿勢)を高めていこうという話もしました。

3年生になり、進路実現に向けて取り組んでいく皆さんにとっては、行動の前提として、自分の目標や実現したいことは何なのか、また、目標に向けて、どのような準備が必要なのかを見通して計画することがとても大切になってきます。

しかし、皆さんの中には、目標が定まっていないので動けないという人もいるかもしれませんが、そう言いつつ時間が過ぎてしまうのは、とてももったいないことですよね。まず、毎日の授業のための予復習に少しでも時間をとるということを、放課後や自宅で続けてやってみてください。大切なことは、「まず、行動」することです。

さて、42 回生の皆さんには入学式から、よくお話してきましたが、生成 AI が生活のあらゆる場に入ってきて、私たちは便利な時代に生きています。このような時代だからこそ、自分の頭で考え、決定して行動することが人間の魅力だと思っています。

もし、複数の人が同じ場所で、同じ情報をもとに自分で行動を決定するとしても、すべての人が必ず同じ判断や、行動をすることは限りません。

今日、登校してきて、昇降口に先輩方の探究発表のポスターを掲示しているのに気がついたと思います。「探究」はこれという正解がないとこ

ろに面白さがあります。

先輩たちが自ら調査し、多くの資料を作成し、そこから得た結論は、仮に、別の人が同様に取組んだとしても視点や結論は異なったものになると思います。

私は、まさに、その点が「探究」が人間の取組みとしての魅力を出すことが出来る面白さだと思っています。

皆さんもこれから「総合的な探究の時間」の取組みを進めていきますが、調査を繰り返して深掘りするだけでなく、時には高いところから眺めて視点が凝り固まっていないか振り返りつつ進めて下さい。自分独自のユニークな見方ができれば、調査は横へ広がり、幅が出てきます。そして、成果の発表では必ず、自分の言葉で伝わるようにアピールしましょう。

本日は、年度の始めに当たって、自学の精神と「探究」の大切さについてお話をさせていただきました。

このあと、今年度の先生方のご担当を発表します。3年生しか在籍していないので当然ですが、今年この学校におられるすべての先生は42回生の皆さんのためだけに一年間を支援して下さいます。先生の支えも受けながら、充実した一年を過ごして欲しいと思っています。



図書室に移設された自習ブース

(34回生卒業記念品)



生徒昇降口の探究コーナー

